

天使 (1937)

ANGEL

メディア 映画

ジャンル ロマン스 コメディ

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 91分

初公開日 1946/07/04

公開情報 セントラル

【解説】

主演のディートリッヒ自身は自伝でこの映画を“凡作”とただ一言で片付けている。信じられない傲慢さ。しかし、そこが彼女の美しさだ。美神たる由縁なのだ。妥協のない彼女は、ルビッチ映画の“揺らぎ”がお気に召さなかったのか。英国外交官パーカー卿（マーシャル）夫人マリア（ディートリッヒ）は、夫の出張中、内緒でパリに赴き、旧友のロシア大公妃の怪しげなサロンに顔を出す。そこで出会ったアンソニー（ダグラス）と食事を付き合うが、名前を訊かれても答えずにそのまま去る。ロンドンの昼食会でパーカーは旧友“ブーチー”ことアンソニーに会い、彼の“天使”の話聞く。それが自分の妻であるとは知らずに……。そして、夫妻の邸に招かれたアンソニーは、気まずい会話を交わしながらも、マリアと再会の約束を取り付けるのだが……。いつもの恋愛遊戯を描きながら、誘惑者としては気高すぎるディートリッヒの存在が映画に違ったベクトルを与え、扉を象徴的に使った鮮やかな“反転”のラストまで、官能の緊密なタペストリーを織りなす。洗練に極みをみせるトラヴィス・バントンの衣装をまとめて、これ以上美しいディートリッヒを知らないし、これよりシャープなルビッチ演出はないと信じる。

【クレジット】

監督	エルンスト・ルビッチ	Ernst Lubitsch
製作	エルンスト・ルビッチ	Ernst Lubitsch
原作	メルキオール・レンギエル	Melchior Lengyel
脚本	サムソン・ラファエルソン ガイ・ボルトン ラッセル・メドウクロフト	Samson Raphaelson Guy Bolton
撮影	チャールズ・ラング	Charles Lang
音楽	フレデリック・ホランダー	Frederick Hollander
出演	マレーネ・ディートリッヒ ハーバート・マーシャル メルヴィン・ダグラス エドワード・エヴェレット・ホートン ローラ・ホープ・クルーズ	Marlene Dietrich Herbert Marshall Melvyn Douglas Edward Everett Horton Laura Hope Crews